



詳しくはこちら

エッジAIコンサルテーション

初期検討からデータ収集そして実装まで
PoC（概念実証）の第一歩をサポート

クラウドやサーバに頼らずに推論をおこなうエッジAI技術

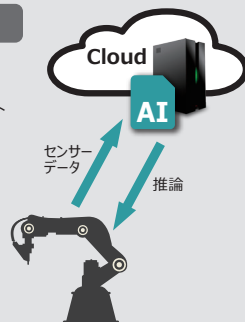
クラウドやサーバ型AIでは、大量のデータの送受信時に回線負荷による遅延が発生しやすく通信コストもかかります。また回線につながる構造上、セキュリティリスクは避けられません。こうした課題の解決策として今、エッジAIの導入が進んでいます。

富士ソフトの「エッジAIコンサルテーション」は、現場の機器（エッジ）のみでAI機能を使っていきたいとお考えの技術者の方に、初期検討段階から実装までAI開発の技術サポートを提供するメニュー型コンサルテーションです。

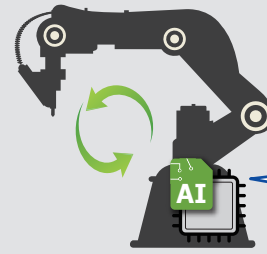
エッジ AI <低消費電力/高性能・低遅延処理/最小限のBOM /通信コスト削減>

クラウド/サーバ

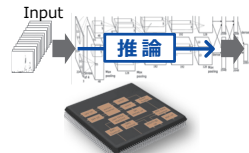
ネットワーク遅延
推論速度、処理帯域の確保
クラウドリソース/通信コスト
ネットワーク運用コスト
セキュリティ・・・などの問題



エッジ



学習済モデルデータを反映
CNN 推論環境



低遅延処理、通信コスト削減、セキュリティリスクなどの課題を解決

エッジAIの導入にお悩みではないですか？

クラウド AI より
エッジ AI がいいの？

どんなデバイスで動くの？
どれが性能いいの？

もうサーバで学習できてるんだけど、
エッジ AI にできる？

どうやって開発するの？
自分たちでできる？

どんなデータを用意すれば
いいかわからない

とりあえず動かして
みたいんだけど
どれくらいかかる？



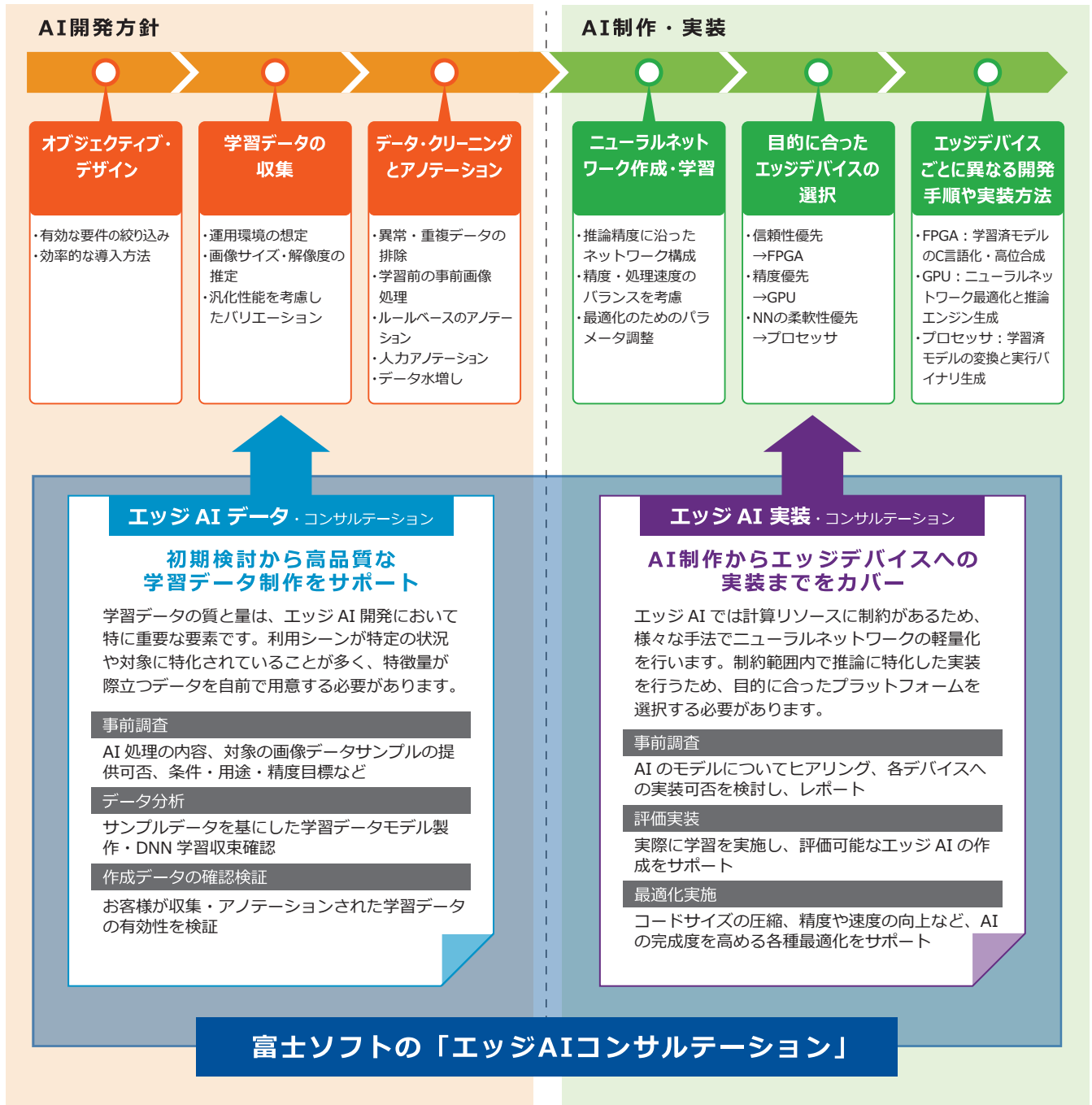
お客様のエッジAI開発を、
富士ソフトのAI技術者と組み込み技術者がサポートします。

富士ソフトの提供する「エッジ AI コンサルテーション」

エッジ AI の開発は大きく分けて、前段階の AI 開発方針である目的設計および学習データの製作と、後段階の AI 学習とそのエッジ AI 化の 2 段階で構成されます。

「エッジ AI コンサルテーション」では、当社の AI 技術者と組み込み技術者が各段階に応じた適正な作業や最適な選択をサポートし、お客様の効果的な AI 開発を実現します。

エッジ AI 開発の流れ



※本印刷物に記載の内容および製品・サービスの仕様は、予告なく変更する場合があります。
※記載されている社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

©2018 FUJISOFT INCORPORATED. All rights reserved.



富士ソフト株式会社 www.fsi.co.jp

0120-593-111

受付時間
9:00~17:00
(土・日・祝除く)



富士ソフト 組み込み製品
お問合せ窓口：et-solution@fsi.co.jp
組み込み WEB サイト：www.fsi-embedded.jp

富士ソフト エッジAI

検索



2018 Nov / rev.1.2